

イスターカーテン

スクエアスリム パイプタイプ 扉

取付説明書

このたびは、TOKOの商品をご採用いただきましてありがとうございます。
 商品の組み立てや取り付けには、この説明書をお読みにになり、正しく美しく仕上げてください。
 ここに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
 施工にあたって必ずお守りください。

■ 工事店様へのお願い

同梱されている取扱説明書は、必ず施主様にお渡しください。

——— 目次 ———

□ 施工上の注意事項	P 2
□ 必要工具類の確認	P 2
□ 梱包内容の確認	P 3~4
■ 扉同梱部品	P 4
□ 扉の構成	P 5
□ 取り付け手順	P 6
1 扉の吊り込み	P 5~7
■ 扉の吊り込み準備	P 5
■ 扉の吊り込み	P 6
■ 扉の連結	P 7
2 落しの取り付け	P 7~8
■ 落とし取り付け位置の確認	P 7
■ 落しの取り付け	P 8
3 吊元の固定	P 8~9
■ 戸袋無しの場合	P 8
■ 戸袋有りの場合	P 9
4 上枠の取り付け	P 10
5 落としボの取り付け	P 10
6 目板の取り付け	P 11
7 カバーの取り付け	P 11
□ 施工後の点検	P 12

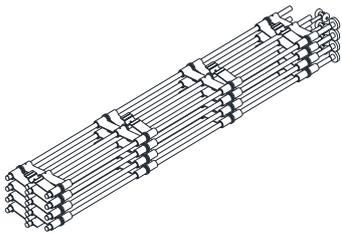
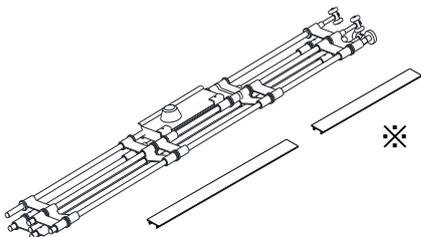
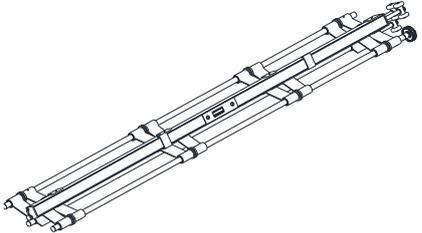
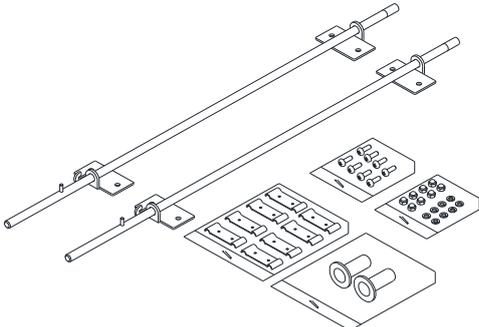
□施工上の注意事項

- ① 各部材の組み立て・取り付けは、取付説明書通り確実にこなってください。
- ② ねじ止め箇所は、指示してあるねじをすべて確実に締めてください。
- ③ 指定の部品以外は使用しないでください。
- ④ 枠の内法寸法を十分確認してください。
- ⑤ アルミ部材の腐食防止のため、以下の点に注意してください。
 - (1) 基礎用モルタルに海砂を使用しないでください。塩分が含まれているため、腐食の原因になります。
また、凝結促進剤・減水促進剤・凍結防止剤などを使用しないでください。
 - (2) アルミ部材の表面に付着したモルタルや汚れは、速やかに取り除いてください。
 - (3) アルミ部材と、銅板や鉄などの異なる金属が接触しないようにしてください。
必要に応じて、ビニールテープ・塗装などにより絶縁処理をおこなってください。
- ⑥ 扉本体は最大約 20kg と一人で扱うことができる重量ですが、安全なスペースを確保して作業を行なうなど、施工には十分ご注意ください。
- ⑦ 施工後、ねじ類にゆるみやガタツキがないか点検してください。
- ⑧ 商品の外観に有害なキズ、ヘコミ等がないか確認してください。
- ⑨ 開閉作動や施解錠が正常におこなえることを確認してください。

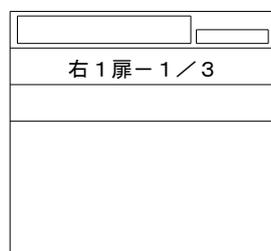
□必要工具類の確認

(+)手動ドライバー 2号	(-)手動ドライバー [先端幅 3mm程度]
手動トルクスドライバー T20H	スパナ 幅 7mm
電動インパクト	脚立
ニッパー	ハンマー
ハンマドリル	カッター
Φ 14.5 キリ	リベッター
ブロワー	

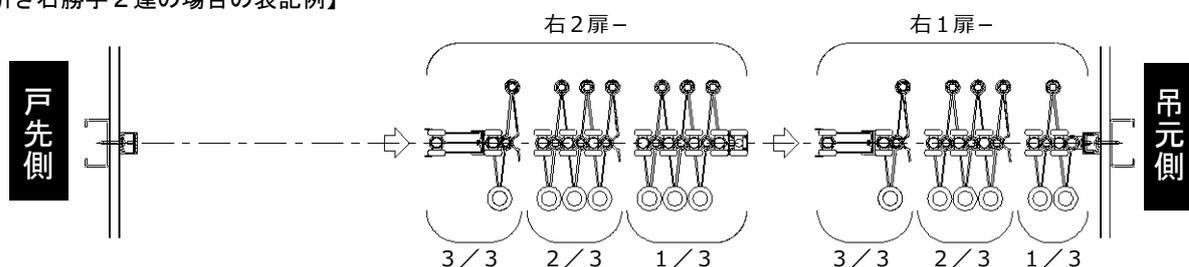
□梱包内容の確認

品名	形状	個数	備考
扉		必要数	
錠付パネル (目板)		必要数 (扉種類および扉連数による)	※目板は梱包されていない場合があります。
受けパネル		必要数 (扉種類および扉連数による)	
落としセット		必要数	落とし棒 落としボ トルクス小ねじ鍋 M4×12 蝶番 ばね座金 M4 袋ナット M4

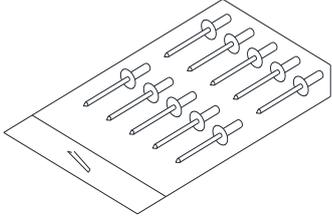
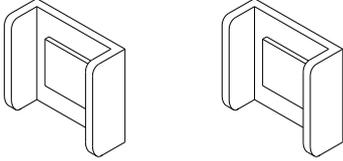
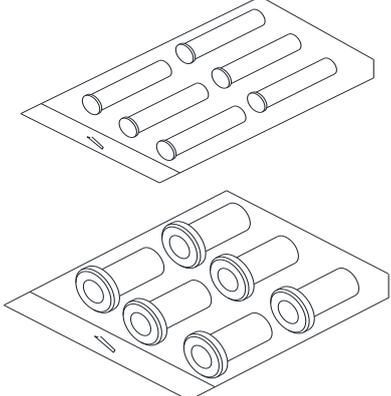
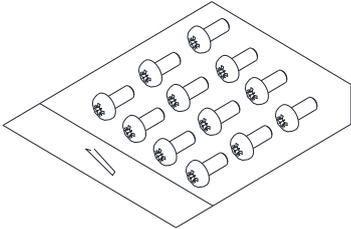
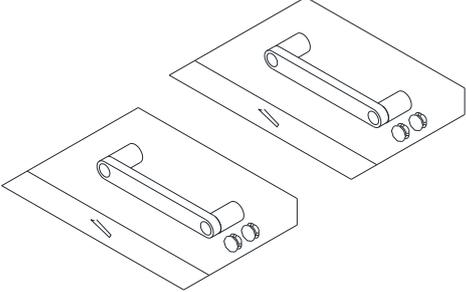
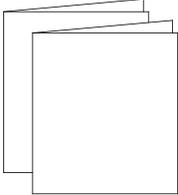
扉の配置や梱包数は、扉梱包箱側面の表示ラベルで確認してください。



【片引き右勝手2連の場合の表記例】

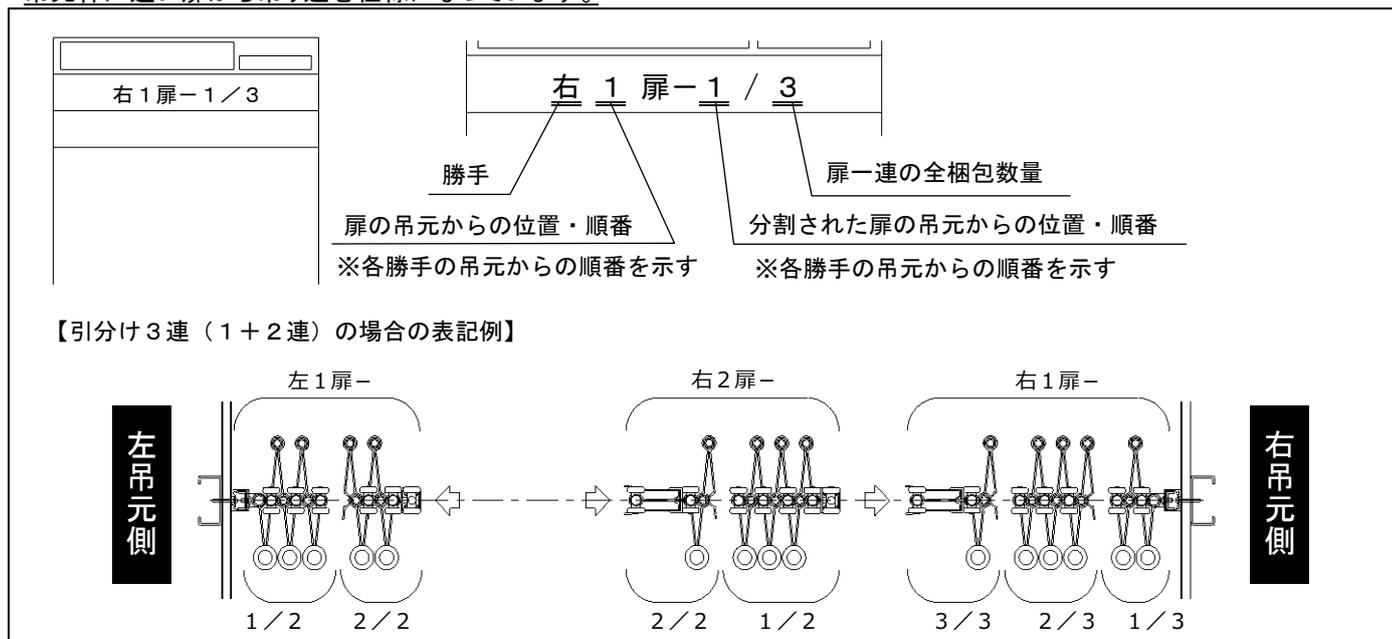


■扉同梱部品

<p>扉連結用リベット</p>		<p>必要数</p>	<p>扉に同梱 ブラインドリベット</p>
<p>カバー</p>		<p>必要数</p>	<p>戸先側の扉に同梱 (戸当り部のみ)</p>
<p>シャフト スリーブ</p>		<p>必要数</p>	<p>扉に同梱 (戸袋有りの場合のみ)</p>
<p>小ねじ鍋 M4×12</p>		<p>必要数</p>	<p>扉に同梱 (戸袋無しの場合のみ)</p>
<p>取手セット</p>		<p>必要数</p>	<p>扉に同梱 取手 小ねじトラス M4×16</p>
<p>(扉)取付説明書 取扱説明書</p>		<p>1セット</p>	<p>吊元側の扉に同梱 注意 同梱されている 取扱説明書は、 必ず施主様に お渡しください。</p>

□ 扉の構成

扉は仕様により種類が異なります。梱包箱側面に貼り付けてある梱包表示ラベルにて、扉の配置を確認してください。吊元枠に近い扉から吊り込む仕様になっています。



□ 取り付け手順

施工は、以下の手順でおこなってください。

1 扉の吊り込み

- 扉の吊り込み準備
- 扉の吊り込み
- 扉の連結

2 落とし部品の取り付け

3 吊元の固定

4 上枠の取り付け

5 落としツボの取り付け

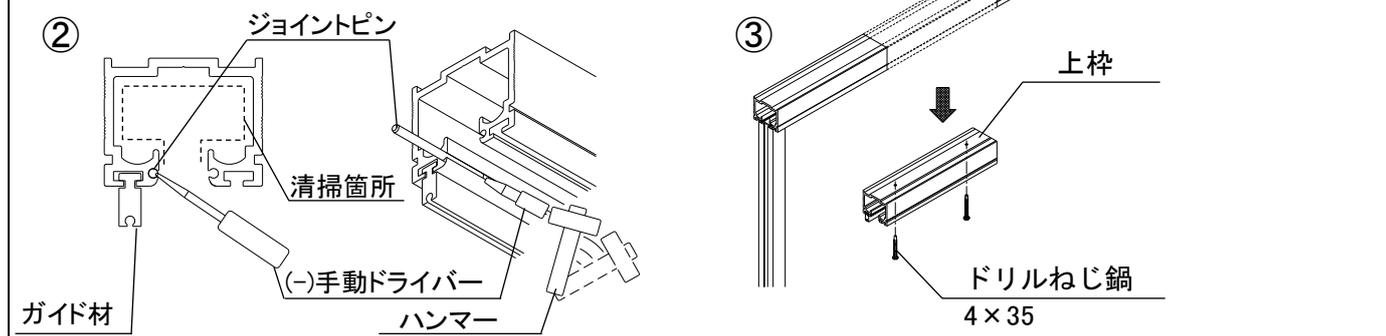
6 目板の取り付け

7 カバーの取り付け

1 扉の吊り込み

■ 扉の吊り込み準備

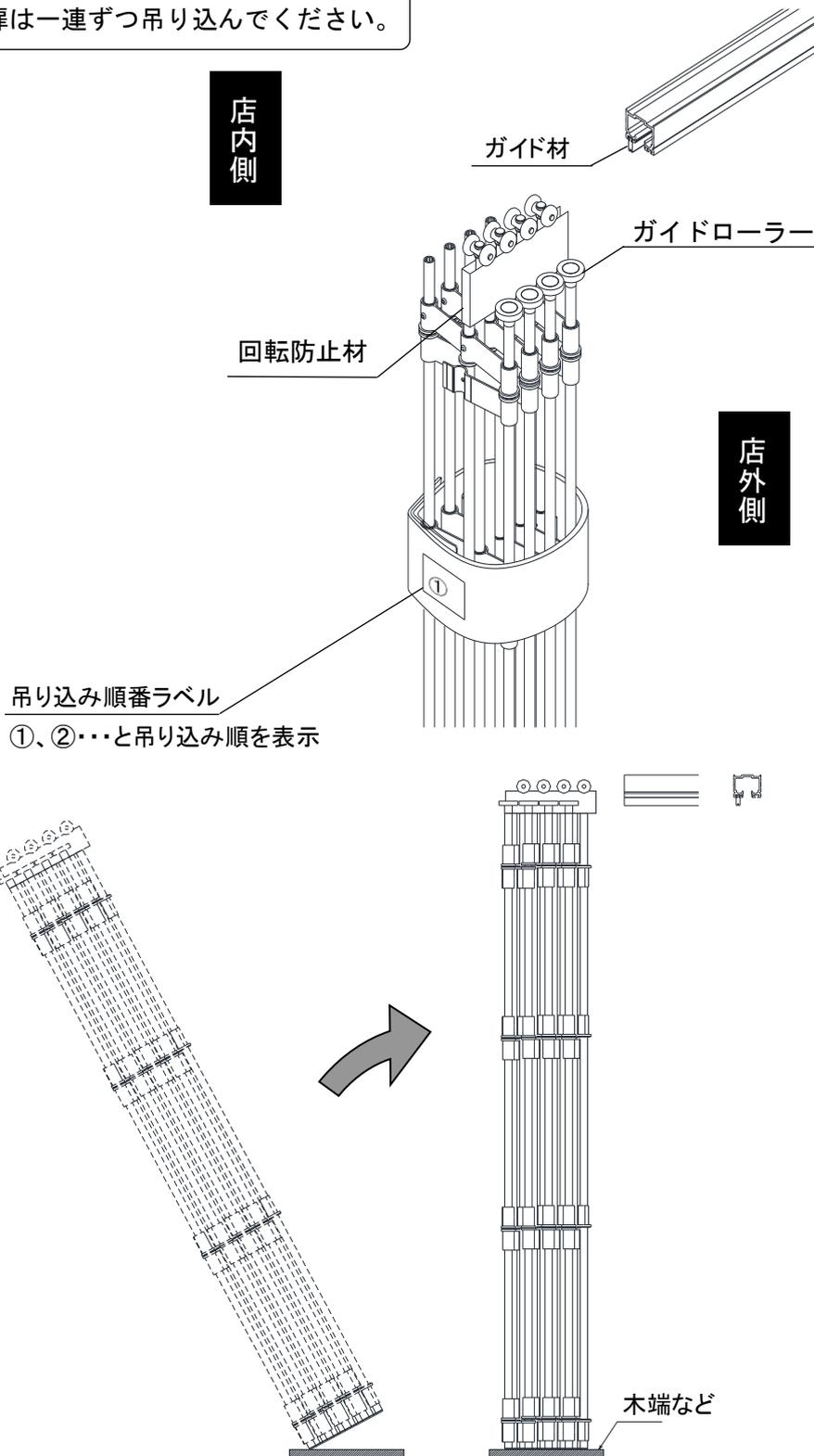
- ①吊り込み位置を確認してください。
- ②(-)手動ドライバーとハンマーを使い、上枠連結部のジョイントピンをずらしてください。
- ③上枠を固定しているドリルねじ鍋4×35を取り外して、上枠を取り外してください。
- ④上枠内(下図点線部)のチリ、ほこりをブロワーで清掃してください。



■扉の吊り込み

- ①扉に貼り付けてある吊り込み順番ラベルを確認し、1番から順に吊り込んでください。
(数字は吊元から①、②、③・・・となっています)
- ②木端などを床にしき、扉を起こしてください。
- ③上枠にローラーを通して、扉を吊り込んでください。
※ガイド材の取付位置と、扉の向き(ガイドローラーの取付位置)に注意してください。
ローラーの回転防止のため、回転防止材(ボール紙)で規制しています。
回転防止材は、吊り込み時に外れて落下するようになっていきますので、吊り込み前に外さないでください。

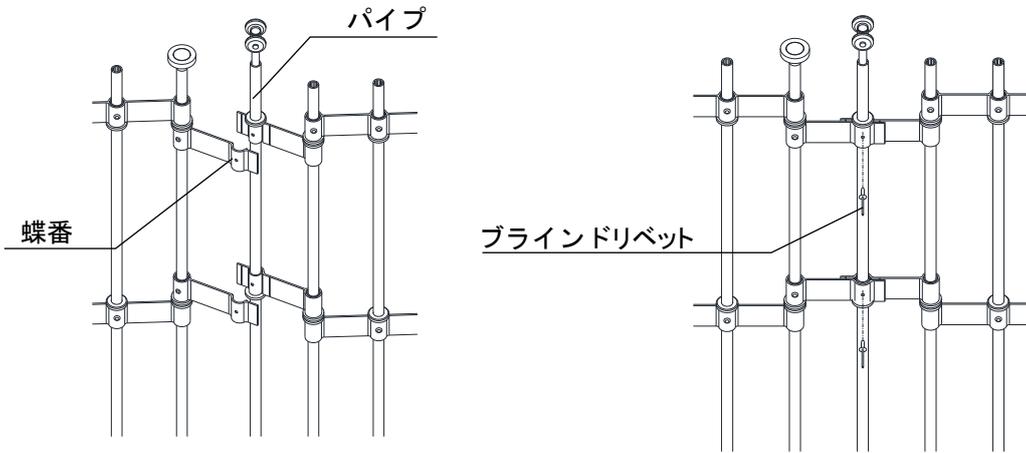
注意 → 扉は一連ずつ吊り込んでください。



■扉の連結

扉連結用リベットは、扉に同梱されています。

- ①連結部のパイプと蝶番をあわせてください。
- ②ブラインドリベットをパイプと蝶番の穴に挿し込み、リベッターで固定してください。

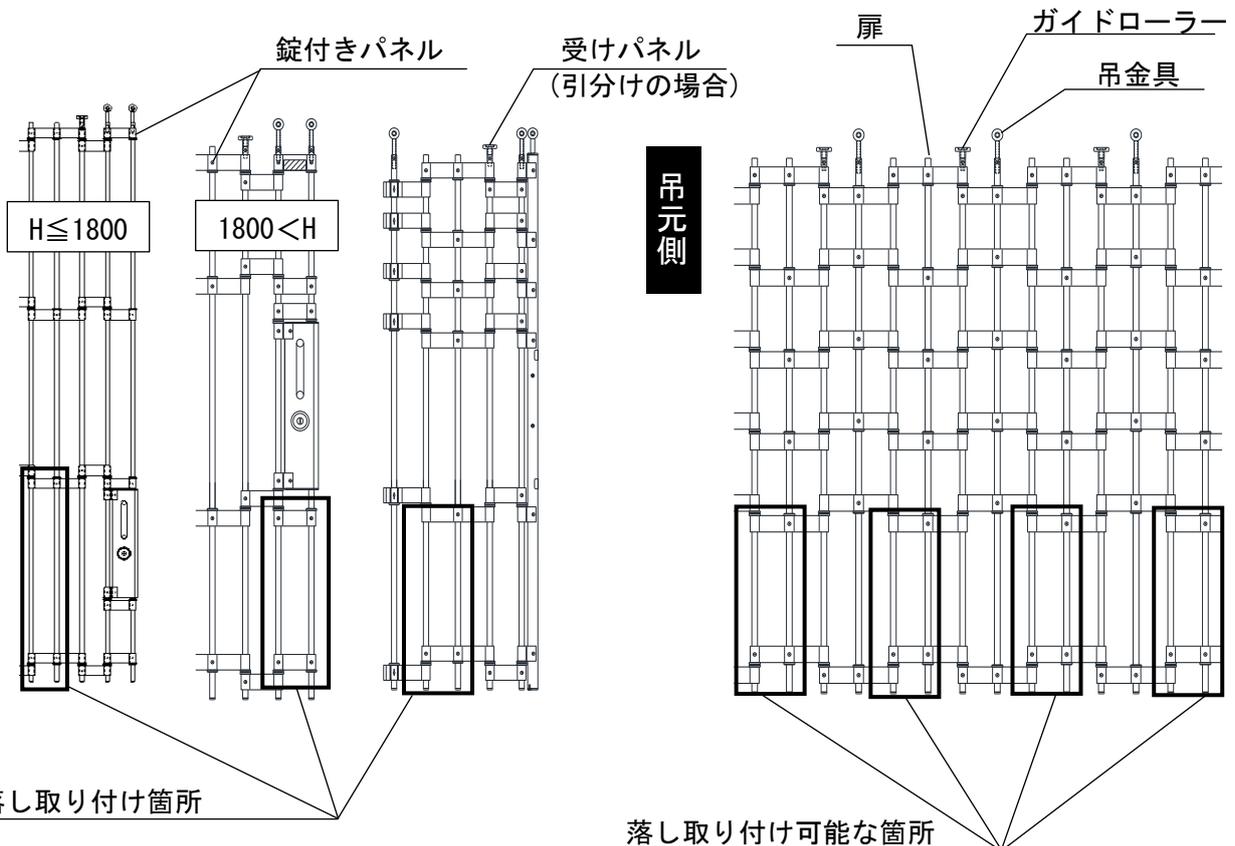


2 落しの取り付け

■落とし取り付け位置の確認

- ・錠付きパネルと扉に落としを取り付けてください。
※引分けの場合、戸先の受けパネルにも落としを取り付けてください。
- ・扉に落としを取り付ける際は、ガイドローラーより吊元側のパイプ2本に等間隔に落としを取り付けてください。

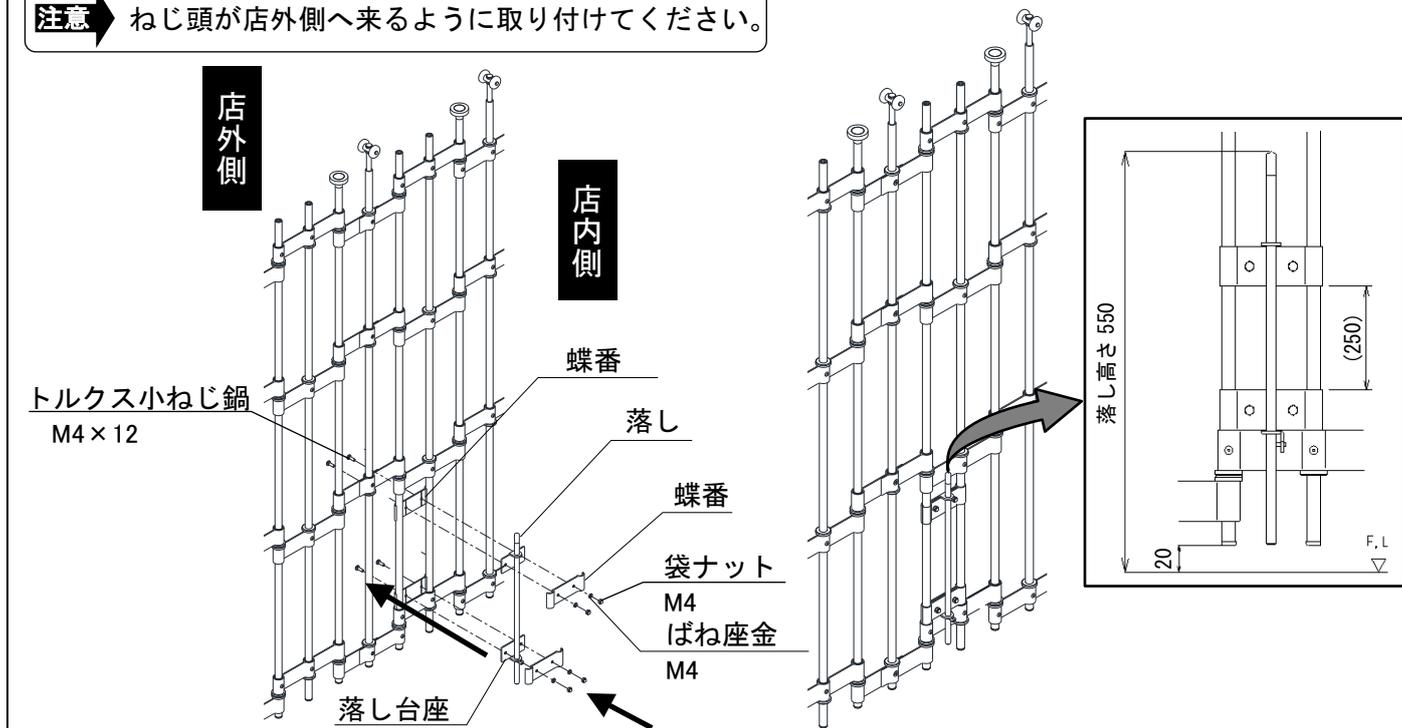
注意 ▶ 落とし間の距離が 2000 mm を超えないように取り付けてください。
ガイドローラーや吊金具の付いたパイプに落としを付けると動きが悪くなるため、落としは取り付けないでください。



■ 落しの取り付け

- ①同梱部品の落とし、蝶番、ばね座金 M4、袋ナット M4、トルクス小ねじ鍋 M4×12 を用意してください。
- ②落とし取り付け位置を確認し、図の高さに合わせて落とし台座の位置を調整してください。
- ③落とし台座を蝶番で挟み、トルクス小ねじ鍋 M4×12、ばね座金、袋ナットで固定してください。

注意 → ねじ頭が店外側へ来るように取り付けてください。

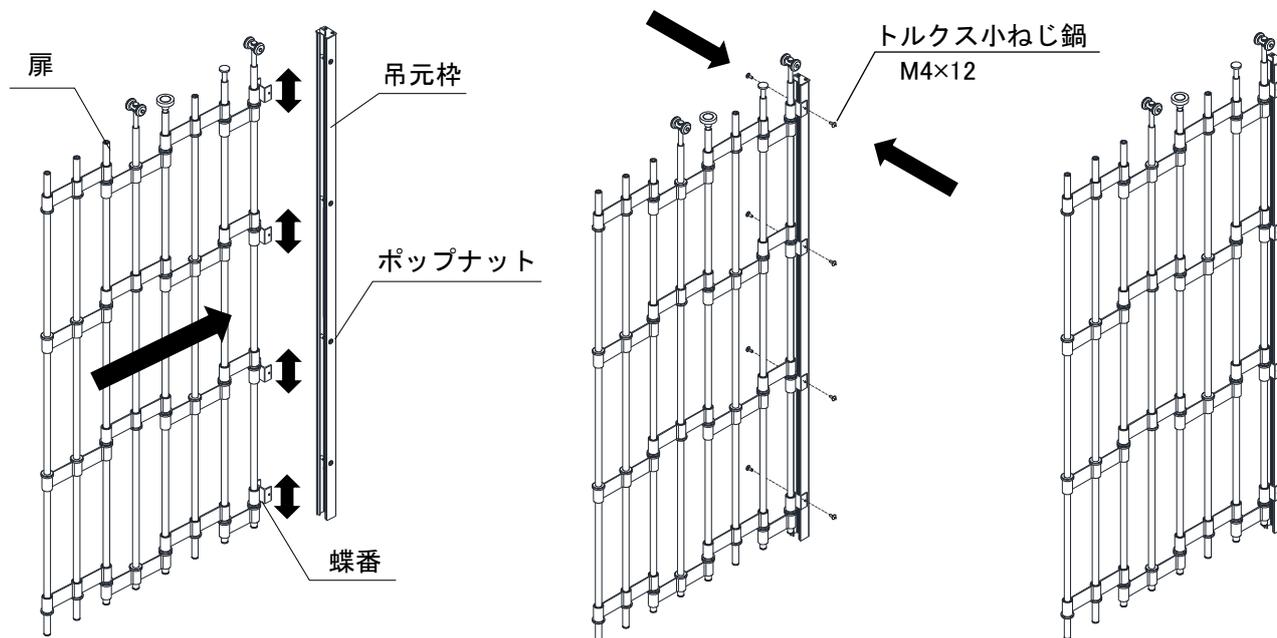


3 吊元の固定

■ 戸袋無しの場合

吊元固定ネジは、扉に同梱されています。

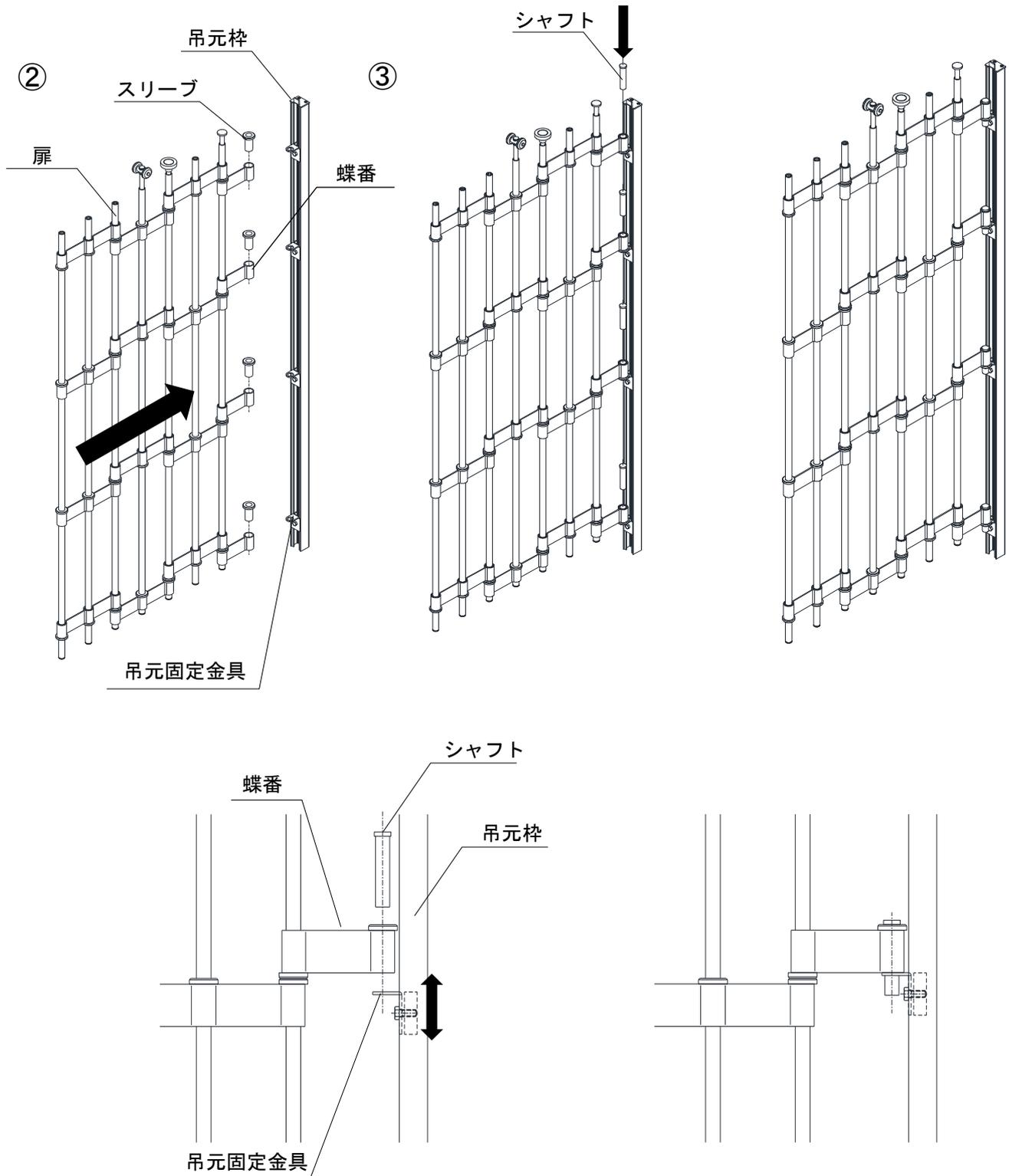
- ①トルクス小ねじ鍋 M4×12 を用意してください。
- ②扉を吊元枠近くに引き寄せてください。
- ③扉の蝶番を吊元枠のポップナットの位置と合わせ、トルクス小ねじ鍋 M4×12 で蝶番を吊元枠に固定してください。



■戸袋有りの場合

シャフト、スリーブは、扉に同梱されています。

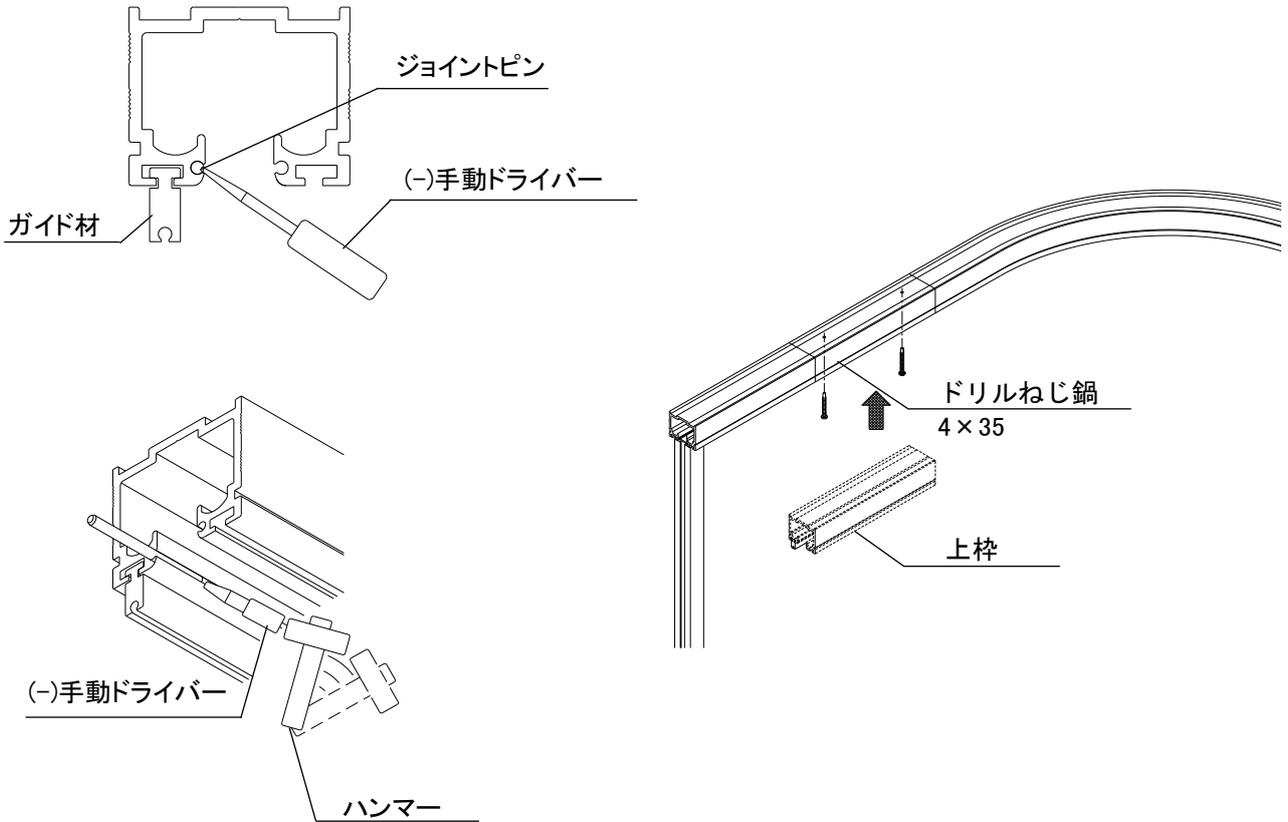
- ①スリーブ、シャフトを用意してください。
- ②扉を吊元枠の近くに引き寄せ、扉の蝶番に上側からスリーブを挿し込んでください。
- ③扉の蝶番と吊元固定金具の高さを合わせ、上からシャフトを挿し込んで固定してください。



4 上枠の取り付け

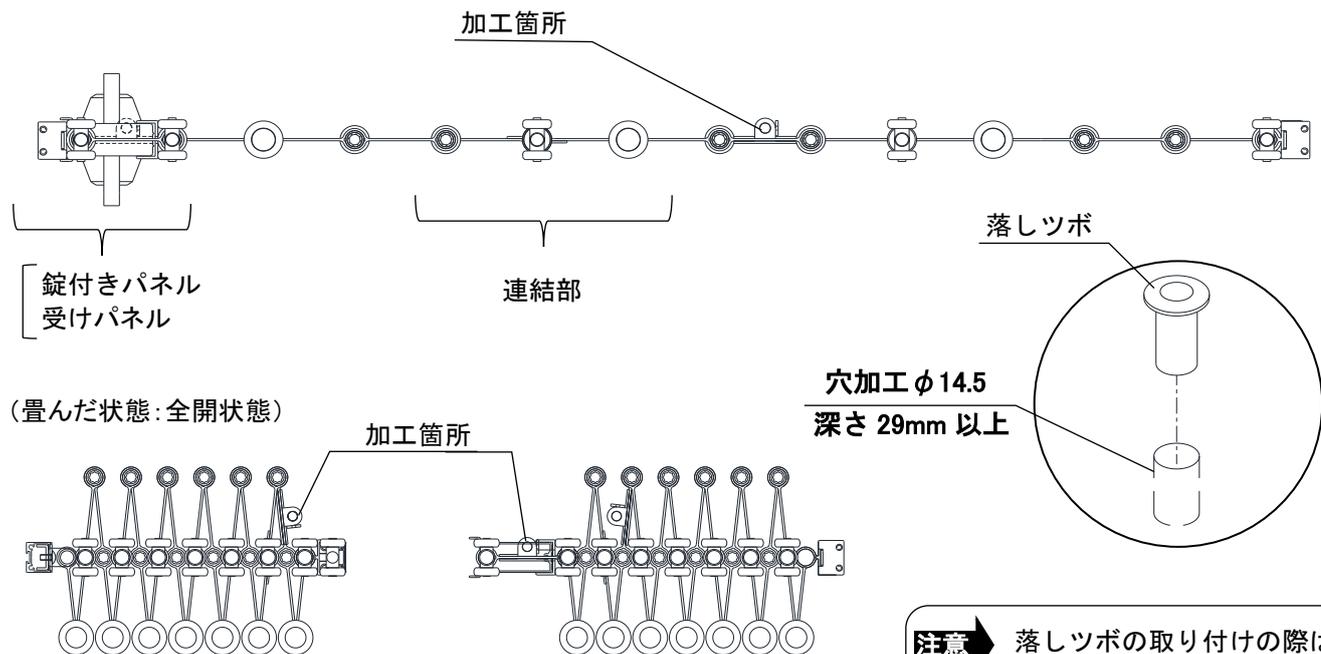
- ① 取り外した上枠をドリルねじ 4×35 で取り付けてください。
- ② (-) 手動ドライバーとハンマーを使い、ジョイントピンをずらして上枠連結部を固定してください。

※上枠についているガイド材は、上枠と固定されていません。
上枠取り付けの際に、ガイド材がついていることを確かめてください。



5 落としボの取り付け

全ての落とし取り付け位置と戸先の全開ストッパーに合わせて床に落としボの取り付け加工をしてください。
(広げた状態: 全閉状態)



注意 → 落としボの取り付けの際は、
落としボが浮かないよう
にしてください。

6 目板の取り付け(片引きの場合)

①ストライクの高さを調整してください。

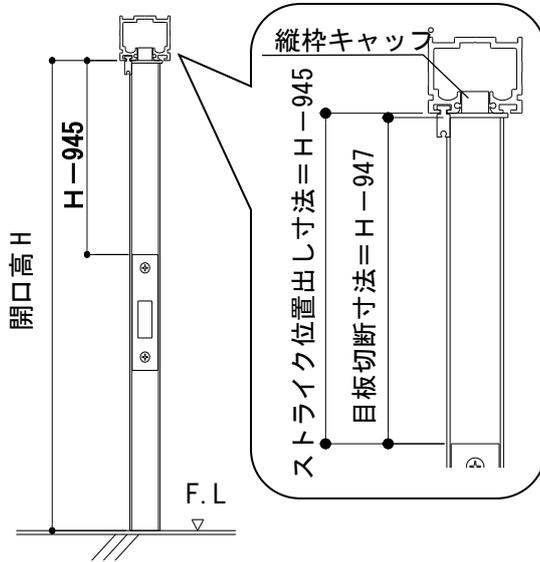
※下図の計算式から算出し、上枠下面からストライクの上端までの寸法を合わせてください。

②ストライク調整後、目板の切断寸法を測定し、丸のこ(アルミ切断刃付)で切断してください。

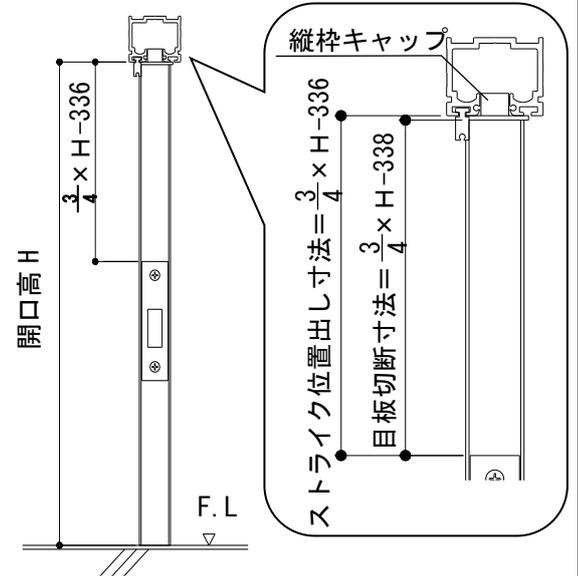
※ストライクより上側に取り付ける目板は、縦枠キャップからストライクの上端までの寸法を測定し、切断してください。

※ストライクより下側に取り付ける目板は縦枠下端からストライクの下端までの寸法を測定し、

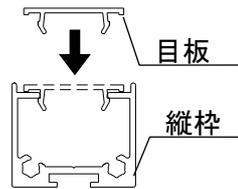
H ≤ 3000 の場合



H > 3000 の場合



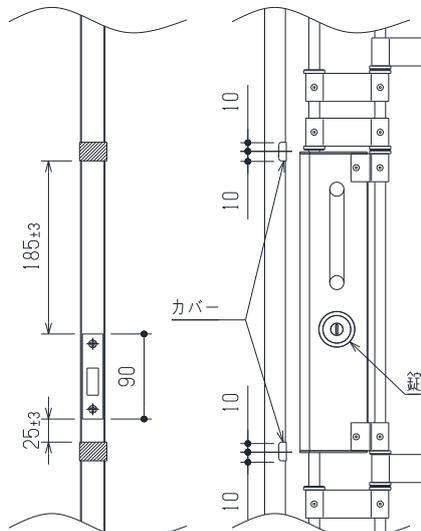
③目板を下記の縦枠に押し込むように取り付けてください。



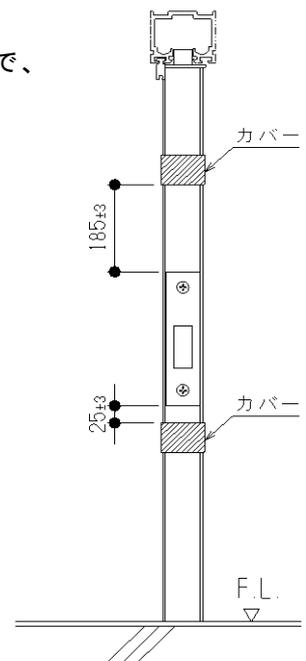
7 カバーの取り付け(片引きの場合)

①扉に同梱されているカバーを用意してください。

②カバーを右図のように貼り付けてください。下図のような納まりになりますので、取付後に実際に扉を施錠し、納まりの確認をおこなってください。



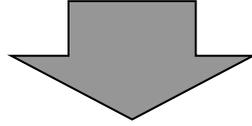
錠納まり参考図(ストライク・カバー取付位置確認用)



戸当り枠納まり参考図

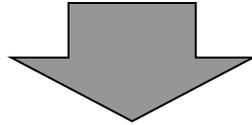
□施工後の点検

取り付け作業をしたねじ類の締め具合を確認してください。



扉の開閉テストをして、開閉に支障がないかを確認してください。

- ・ 開閉がスムーズであること。
- ・ 扉が完全に折りたたむこと。
- ・ 落しがスムーズに操作できること



お施主様に取扱説明書をお渡してください。

